

五戸総合病院での研修を終えて

順天堂醫院初期臨床研修医 2年 岡本侑大

2025年2月の1か月間、五戸総合病院にて研修を行わせていただきました。

研修内容としては病棟にて患者さんを担当させていただいたり、手術に入らせていただいたり、外来や往診もさせていただいたりと多岐に及ぶものでした。

まず、病棟では自身が主治医となり治療方針だけでなく、社会調整など担当患者さんに関わるあらゆる業務に携わらせていただきました。自病院だと上級医の指示の下で動くことがほとんどでしたが、自分で判断しないといけない状況を多く経験することで自身のスキルアップにもつながったと実感しています。患者さんの医学的側面だけでなく家庭環境などにも配慮した上で社会調整行うのもいい経験になりました。病状説明や退院調整などでご家族とお話する機会も多く、適切な説明を行うために何を準備しておくべきか、どのように説明すればご理解いただけるかなどを考えることもこれまではなかったため苦労しました。もちろん良い内容の説明だけでなく、お看取りなどのつらい内容の説明を行わなければならないこともありましたが、今後の医師として働いていく中で生きていく経験かと思えます。

手術、外来や往診も自病院で経験することないこともありましたが、コメディカルの方々に助けていただきつつ色々なことをさせていただきました。

研修だけでなく五戸町や八戸市での観光も満喫させていただきました。五戸町の馬肉はもちろんのこと、八戸で食べた海産物はこれまで食べたことないほど美味しかったです。2月で近隣の観光はあまりできなかったのですが、また雪が溶けたところに観光に来たいと思いました。

最後にはなりますが、今回の研修を受け入れてくださった安藤院長、たくさんご指導いただいた岩間先生、コメディカルやスタッフの皆様本当にありがとうございました。

今回の経験を活かせるよう今後も研鑽を積んでいきたいと思えます。